

都市鳥の生態学

NPO法人自然観察大学前学長 唐沢 孝一

<講座案内>

都市は、人が人のためにつくった人工環境です。その都市に、野生の鳥のカワセミやバン、コゲラやイソヒヨドリ、オオタカやハヤブサ、イソヒヨドリ、ウミネコなどが次々と進出し、繁殖をはじめました。都市では一体何が起こっているのでしょうか。都市で暮らしている人間とはどのような関係にあるのでしょうか。



本講座では、普通のバードウォッチングとは一味違う、鳥の視点からみた都市環境や都会人についても考えてみます。半世紀以上にわたる東京都心での調査・研究の成果を中心に、世界の都市鳥についてもご紹介します。(講師・記)

【カリキュラム】

- 第1回 都市に次々と進出する野鳥
- 第2回 人と野鳥の絶妙な距離：ツバメ、スズメ、シジュウカラ
- 第3回 永遠のライバル：カラス vs オオタカ・ハヤブサ

【広報画像】

- ①ビルの屋上でミツバチの幼虫を食べるイソヒヨドリ（東京・銀座）（講師撮影）
- ②人とスズメのソーシャルディスタンス（東京・上野不忍池）（講師撮影）
- ③都市生態系の頂点 ハヤブサが仕留めたドバト（講師撮影）

<講師紹介>

唐沢 孝一：（からさわ・こういち）NPO法人自然観察大学前学長。東京教育大学（現筑波大学）理学部動物学科を卒業。都立高校の生物教師を経て、埼玉大学教育学部で「自然観察入門」を担当。日本鳥学会評議員、都市鳥研究会代表、NPO法人自然観察大学学長などを歴任。執筆や講演、自然観察など多方面にわたって活動している。著書に、『目からウロコの自然観察』（2018）中公新書、『都会の鳥の生態学——カラス、ツバメ、スズメ、水鳥、猛禽の栄枯盛衰』（2023）中公新書、他多数。

日 時 2024/11/8, 11/15, 11/22 回 数 3回

指定金曜日 10:00~11:30

受講料 会員 10,395円 [受講料 9,900円 / 設備費 495円]

一般 13,695円 [受講料 13,200円 / 設備費 495円]

※入会金・受講料等は消費税10%を含む金額です。

持ち物など 【参考文献】

- 唐沢孝一『都会の鳥の生態学——カラス、ツバメ、スズメ、水鳥、猛禽の栄枯盛衰』（2023）中公新書

Zoomウェビナーを使用した、教室でもオンラインでも受講できる自由選択講座です（講師は教室）。見逃し配信（1週間限定）はマイページにアップします。各自ご確認ください。お問合せは asaculonline001@asahiculture.com で承ります。

※ご入会の優待制度をご利用の方は申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。



朝日カルチャーセンター

<新宿教室>

〒163-0210 新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル 10階

TEL : 03-3344-1941 URL : <https://www.asahiculture.com>